

教科: 商業

科目: 情報処理

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 HR 11 ~ HR 16

教科担当者:

使用教科書: ( 東京法令出版 情報処理 )

教科 商業

の目標: 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 情報処理

の目標: ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	プレゼンテーション 【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。	第5章 プレゼンテーション 1. プレゼンテーションの技法 2. プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用	【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力が身に付いている。	○	○	○	14
	企業活動と情報処理 【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。	第1章 企業活動と情報処理 1. ビジネスと情報 2. コミュニケーションと情報デザイン 3. 情報モラル	【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力が身に付いている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	情報の集計と分析 【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。	第3章 情報の集計と分析 1. ビジネスと統計 2. 表・グラフの作成と表計算ソフトウェアの特徴 3. 情報の分析 4. 問題の発見と解決の方法	【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力が身に付いている。	○	○	○	16
	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1. コンピュータシステムの概要 2. 情報通信ネットワークのしくみと構成 3. 情報通信ネットワークの活用 4. 情報セキュリティの確保	【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力が身に付いている。 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力が身に付いている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学期	<p>ビジネス文書の作成</p> <p>【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力を養う。</p>	<p>第4章 ビジネス文書の作成</p> <p>1. 文書の表現</p> <p>2. 文書作成ソフトウェアの特徴</p> <p>3. ビジネス文書の種類と作成</p>	<p>【知識及び技能】企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決する能力が身に付いている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な利用に主体的に取り組む能力が身に付いている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							78